

令和2年度 倭成育子園事業計画書

1. 重点施策

(1) 保育の専門性「子ども主体・子ども中心の見守る保育」

- ① 0～1歳児・・・安心できる人的及び物的環境を整える。(信頼できる大人の存在と、食・寝・遊を一人ひとりのペースで保障できる環境)
探索活動を十分に保障する。(興味をもって自ら働きかけることが出来る環境)
- ② 2歳児・・・基本的な生活習慣が快い感覚として身に着くようにする。(着替え・排泄・手洗い・うがい等)
みたて、つもり遊びを十分に保障する。(ごっこ遊び・表現遊び等)
- ③ 3～5歳児・・・集団生活を通じて、自律、協調性・道徳性・社会性を大事にしふれあっていく。また、思考力、判断力、表現力の芽を育くまれるような環境をつくり、仲間同士が協力する活動(自主性・自発性・協同性)を十分に保障する。

(2) 保育の質の向上

① 職員の取り組み

一円対話を実施し、職員間のチームワーク向上に努め、職員一人ひとりが内省を繰り返す。

② ホームページにより保育の可視化

毎日のブログ更新および毎月ドキュメンテーションを掲示

③ 保護者の一日保育士体験の実施

年1回、保育士体験していただき我が子では見られない姿も知っていただく機会にする。また保護者と職員の相互理解と信頼関係を深める。

(3) 地域行事への参加

和田1丁目町会盆踊り、ハロウィンに参加する。
「保育園で過ごそう会」子育て支援を行う。

2. 保育環境

(1) 発達に応じた遊びの選択

子ども一人ひとりが自分の発達に応じた遊びを選択できるようにする。日々の保育を充実させ、子どもが自発的に探求心を広げたり深めたりできる環境を設定する。

(2) 衛生管理

看護師を配置して園医(佼成病院：小児科医)と連携をとりながら、園児定期健康診断を実施して、感染症予防対策等も徹底する。

(3) 園庭

定期的に点検し、安全で生き生きと遊び込める環境づくりに努める。

(4) 空中菜園・プランター栽培

種から育てることで、収穫する喜びを味わい、食育への興味関心を深め、自然の恵みに感謝する心を育てていく。

(5) 食の安全

食の安全に配慮し、特に食物アレルギー対応を徹底する。

杉並保健所の定期衛生検査を受け厨房内の衛生管理に努める。

3. 職員の健康管理

(1) 全職員は月1回細菌検査と年1回健康診断を行なう。日本医師会認定産業医(佼成病院：メンタルヘルス科医師)を含めた衛生委員会を開催し、園内の衛生管理に努める。

(2) 職員のストレスチェックを行い、一人ひとりが自分の気持ちに向き合い、ストレスの予防に努める。

(3) 働き方改革で、2019年4月より義務化される年次有給休暇の年5日取得を遂行すると共に、職員が余裕を持って働けるよう仕事を面白くしていく担当を決め改革していく。

4. 職員会議および研修

(1) 会議等

職員全体会を毎月2回開催し、各種委員会等を随時開催する。

(2) 研修等

① 東京都キャリアアップ研修に参加し、保育士の資質向上に努める。

② 「見守る保育」東京地区活動に参加し、研修や他園訪問研修会を立案実施する。

③ 行政や保育関連機関が主催する研修に積極的に参加し自己研鑽につなげていく。

④ 園内研修の研鑽に努める。

5. 防火防災・減災・防犯対策

(1) 大震災等に備えて職員は2泊3日の連続保育を想定した勤務体制で臨む。

(2) 防火防災・防犯訓練を、毎月1回以上実施する。

(3) 3.11に総合震災訓練を実施し、被災地へ祈りを捧げる。

以上